

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年2月22日

公表: 令和5年3月25日

事業所名 子ども発達研究所 NOBAサポ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	活動に応じて広くスペースを確保する工夫をしています。	スペースを目的に応じて区切ることで個人活動、集団活動を取り組みやすくします。発達課題に応じて法人内において適切な事業所以降が行われる努力をしています。
	2	職員の配置数は適切である	6	3	職員の勤務シフトを工夫し、密度の濃い支援を行うことができますようにしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		バリアフリーを必要とする利用者にはエレベーターの活用を行います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2		業務点検リストを活用し、1か月単位で振り返りを実施して、業務改善に努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	ホームページにより適切に公表しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0		
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	SM社会性能力チェックを用いて児童の支援課題を把握しています。個別支援計画作成の前に保護者の方と面談を行い、課題等をすり合わせるよう努めています。	職員間の連携を図り、個々の特性を的確に把握し、個別支援計画作成に取り組んでいます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3		利用開始時にアセスメントシート、SM社会生活能力チェックを定期的実施しています。教育機関との連携の際は学習に特化したツール・ISSPを適宜活用してまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	主たる活動であるコグトレにおいては、活動の立案者を中心として、難易度を調整すること、利用者全員が参加することができる課題設定ができるように創意工夫をしています。	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	主たる活動であるコグトレでは、年間の活動予定を立案して、児童の発達段階に応じた課題設定を行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	長期休業中は、外出、遠出などを企画し、平日の活動とのメリハリをつけながら成長を促しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	主たる活動であるコグトレでは、年間の活動予定を立案して、児童の発達段階に応じた課題設定を行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	毎日定刻に打合せを実施し、通所児童の共有やコグトレなど支援の役割分担を確認しています。	非常勤職員や送迎不在の職員には、連絡ノートや所内の連絡ツールを活用して、全職員に周知する仕組みを構築しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	翌日の朝会で前日の活動内容を共有する時間を設定しています。	朝会の中で、支援活動の留意点や、当初予定との変更などを全職員に周知しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	朝会にて児童の近況を考える時間を設けています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	必要に応じて保護者の方と面談を行い、個別支援計画の見直しを実施しています。	
関係機	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	0	所内にガイドラインを保管して閲覧できるようにしています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	担当者会議には事業所責任者が出席できるようにしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	事前の予定・送迎の確認及びトラブル時は所内の連絡ツールを用いて対応しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3		医療的ケアが必要な児童が在籍した場合には、主治医等と連携してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1		法人が運営する児童発達支援サービスの事業所を中心に関係する保育所、幼稚園等と情報交換を密にして相互理解を深めながら支援をしてまいります。

関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	定期開催の研修には外部有識者を招いて、助言を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	2		学生ボランティアを活用し、ともに活動する機会を設けています。 イベントを通じて、地域の児童等と関わる機会を設けてまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	法人で実施している地域貢献活動に参加をしています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	HUGシステムを用いて、活動写真を含め、支援内容の報告を行っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1		保護者会を定期に開催し、保護者の方の支援につなげていきます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	2	契約時において、丁寧に説明を実施しています。	契約内容、説明した事項等は、全職員に共有してまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	送迎時等で受けた相談事項については所内で共有しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2		2023年3月にコグトレ体験会を含め、保護者会を実施します。 保護者会を定期に開催するため、開催日時の選定の工夫や内容の改善を図ります。(記載年月日令和5年2月22日)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	苦情について所内で共有して対策し、保護者の方にその対応策について説明しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	定期的に公式LINEやイベント表を発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	法人で実施している地域貢献活動に参加をしています。	
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	所内に掲示しています。	マニュアルを掲示しているが周知に至らない箇所については、年度初め、防災の日(9月1日)に定期的にHUGで配信していきます。	

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	法廷訓練を適切に実施しています。	消防訓練(避難)を実施後は公式LINEを通じて、訓練中の様子など発信していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	虐待防止委員会・身体的拘束適正化検討委員会を設置し、事前に保護者の方へ説明しております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	アレルギーのある利用者は名簿等に記載し、全職員で系列情報を共有しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3		ヒヤリハット用紙を作成し、日ごろから確認しやすい場所に掲示し、事故防止に努めてまいります。